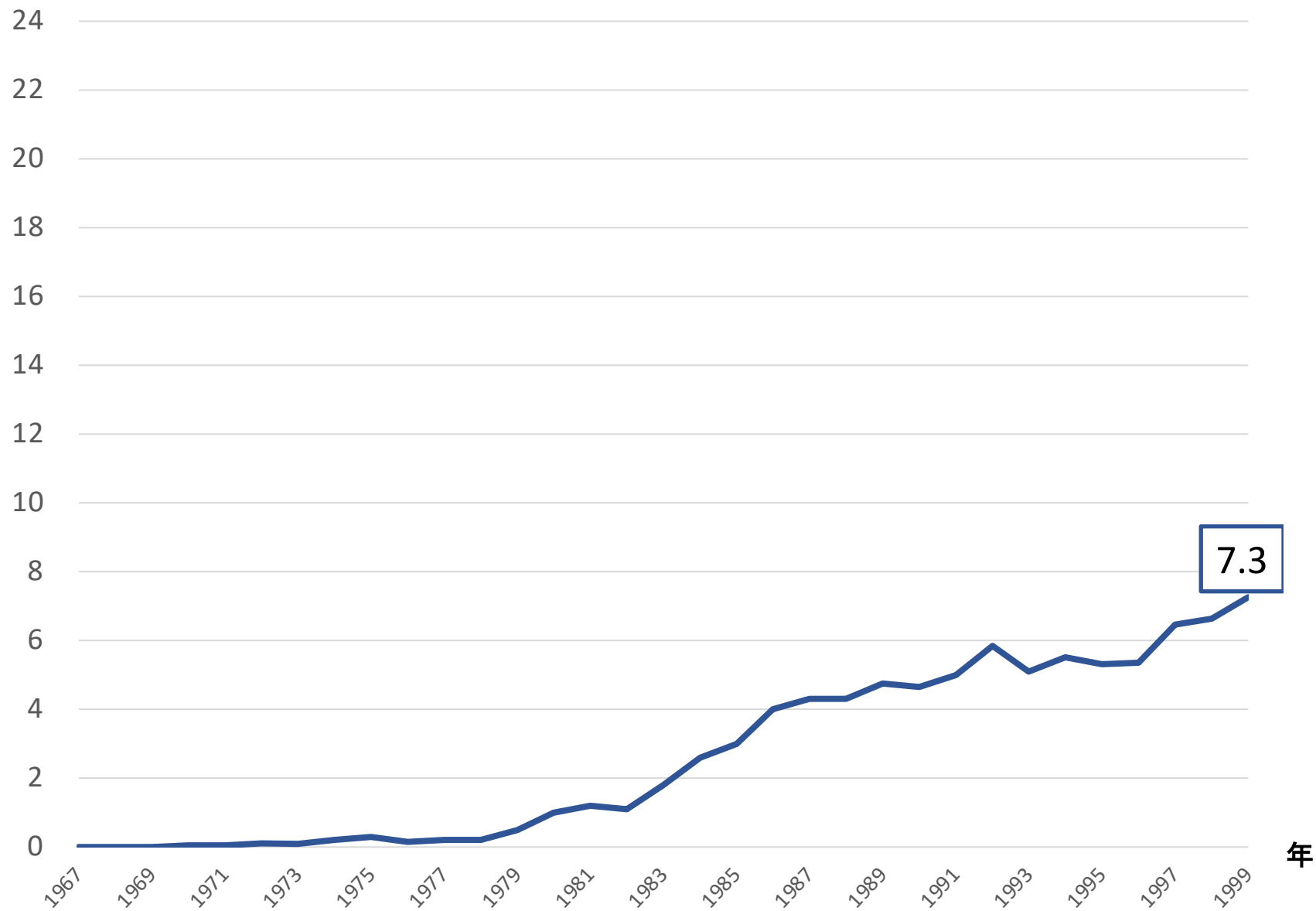


# 岐阜の町工場の企み in 双葉

浅野撚糸株式会社  
代表取締役 浅野雅己

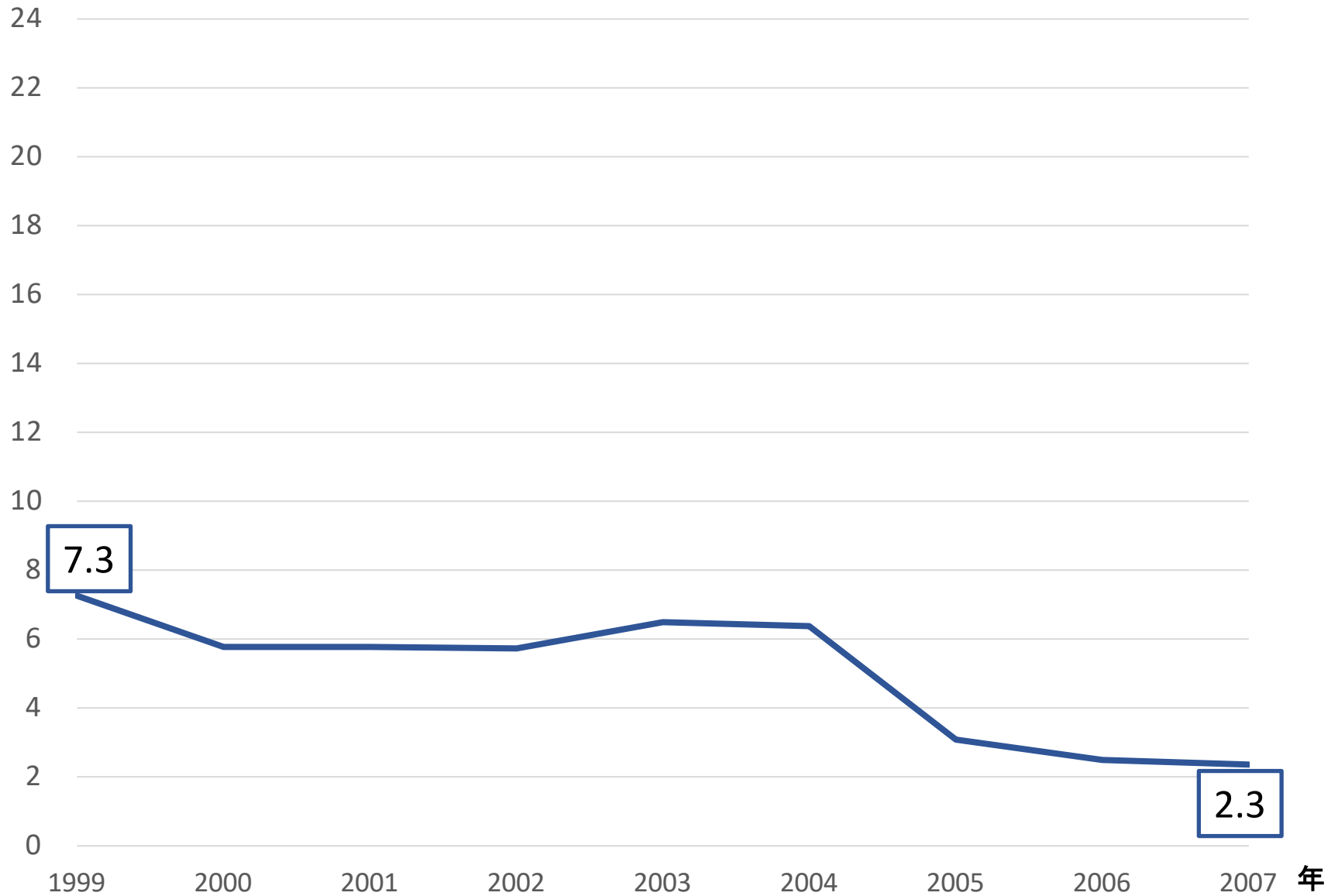
# 浅野燃糸 売上推移

億円



# 浅野燃糸 売上推移

億円



# 下請けからの脱却

1. 世界 唯一無二の技術
2. 最終製品
3. ブランド





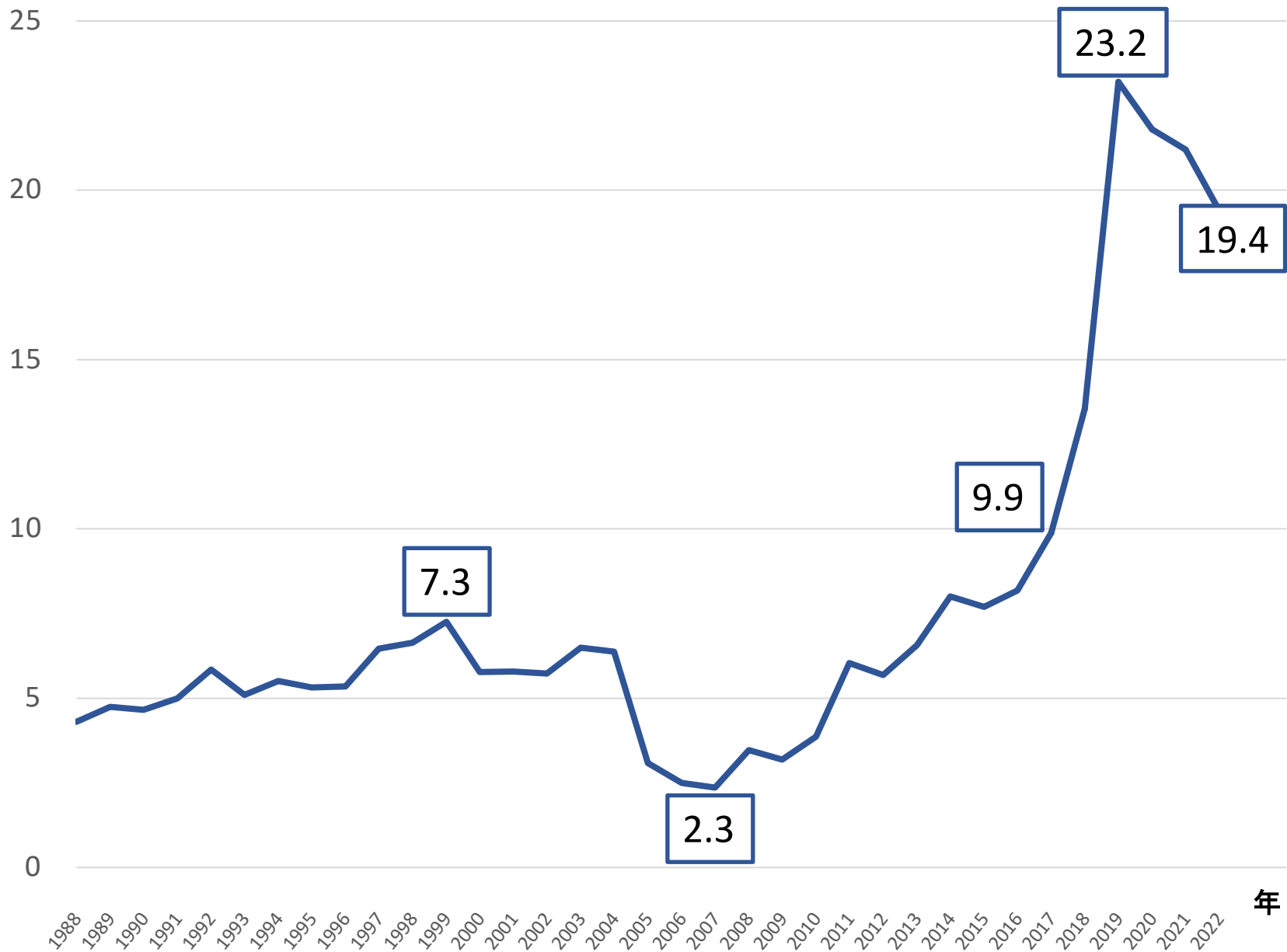


**SUPER**  
**ZERO**  
JAPAN



# 浅野燃系 売上推移

億円



岐阜の町工場の企み

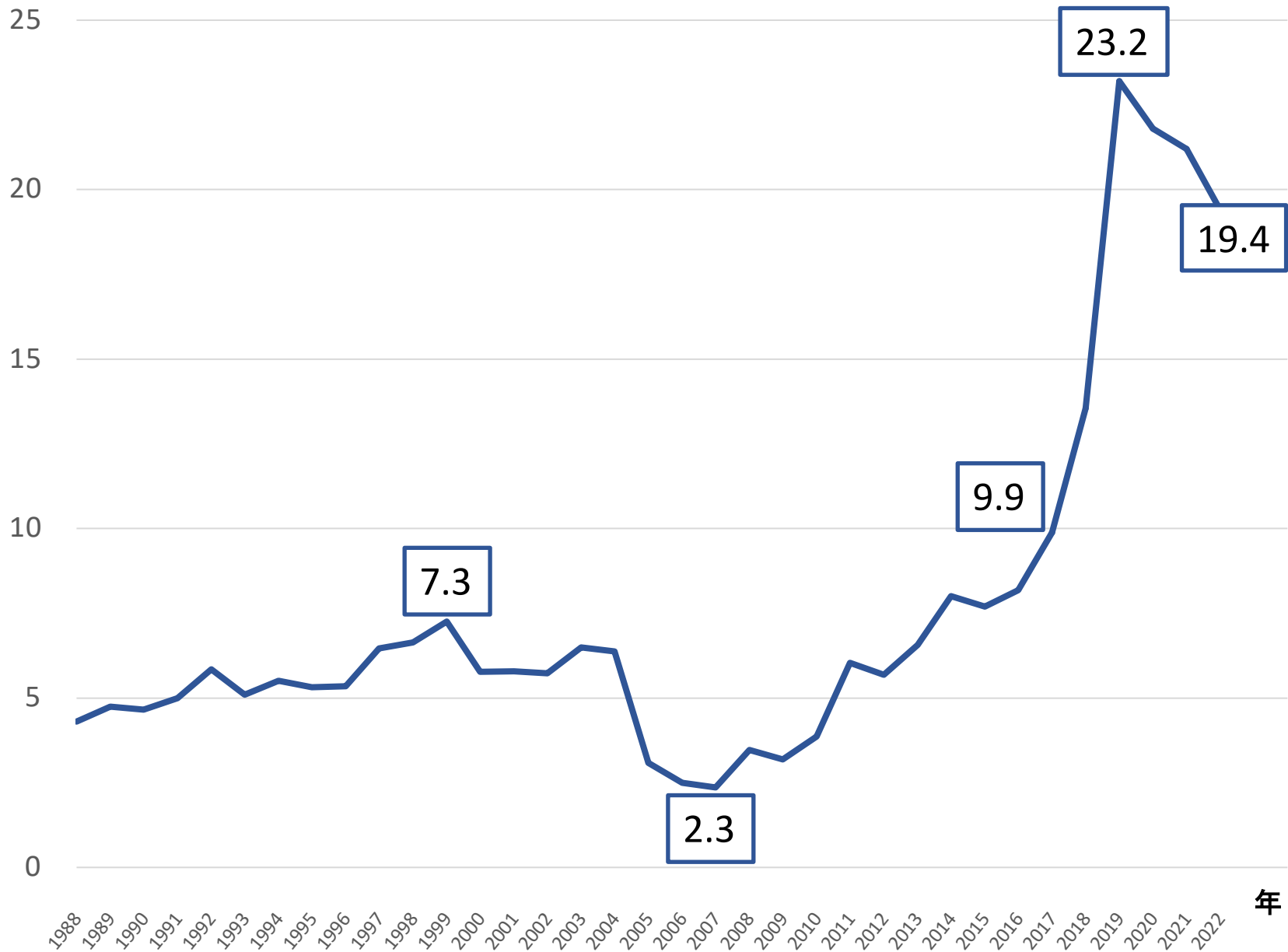
in 双葉



**SUPER**  
**ZERO**  
JAPAN

# 浅野燃系 売上推移

億円





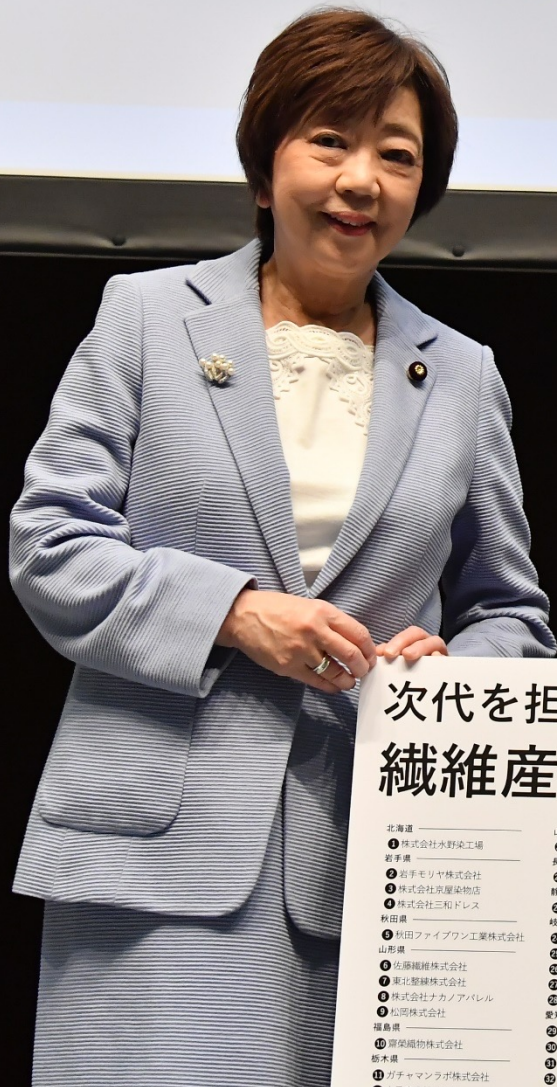








# 授与式



## 次代を担う 繊維産業企業100選

次代を担う繊維産業企業100選

北海道

- ① 株式会社水野染工場

岩手県

- ② 岩手モリヤ株式会社
- ③ 株式会社京屋染物店
- ④ 株式会社三和ドレス

秋田県

- ⑤ 秋田ファイブワン工業株式会社

山形県

- ⑥ 吉澤繊維株式会社
- ⑦ 染社製練株式会社
- ⑧ 株式会社ナノアパレル
- ⑨ 山岡株式会社

福島県

- ⑩ 東栄織物株式会社

栃木県

- ⑪ ガチャマンラボ株式会社

山梨県

- ⑫ 株式会社寺田ニット

長野県

- ⑬ フレックスジャパン株式会社

静岡県

- ⑭ 吉穂織布有限会社

岐阜県

- ⑮ 浅野惣系株式会社
- ⑯ カワゴウテキスチャード株式会社
- ⑰ 岐セン株式会社
- ⑱ 東海サーモ株式会社
- ⑲ 三星毛糸株式会社

愛知県

- ⑳ アルデックス株式会社
- ㉑ 大鹿株式会社
- ㉒ シンコー株式会社
- ㉓ 平久染色株式会社

福井県

- ㉔ 井上リボン工業株式会社
- ㉕ ウラセ株式会社
- ㉖ 永平寺サイジング株式会社
- ㉗ 株式会社カズマ
- ㉘ 高伊織織株式会社
- ㉙ サカセ・アドテック株式会社
- ㉚ 株式会社 SHINDO
- ㉛ 大暮株式会社
- ㉜ トヨシマセイエイ株式会社
- ㉝ 株式会社ニットク
- ㉞ 株式会社マルサンアイ
- ㉟ 株式会社米澤物産

滋賀県

- ㊱ 大塚産業マテリアル株式会社

京都府

- ㊲ 大本染工株式会社



えた菜の花の黄色いじゅう  
がる三ノ倉高原＝9日午前



2023

菜の花

風に揺

# 鉄路と 生きる

## JR東、自治体などと連携

JR東日本は今夏、東日本大震災、東京電力福島第1原発事故の被災地の交流人口拡大に向け、鉄道を生かした観光復興事業に乗り出す。旅行事業者や国、東北地方の自治体と連携し、7月25日に官民連携団体「東北復興ツーリズム推進ネットワーク(仮称)」を設立する。復旧した鉄路や震災伝承施設、各地の自然・文化を組み込んだ旅行商品の企画、教育旅行の誘致を進める。震災と原発事故の教訓を伝えるとともに、鉄路で巡る東北地方の魅力を提案することで、復興の加速と地域活性化につなげる。

JR東が9日発表した。震災、原発事故の発生から12年余が経過し、鉄道などのインフラ復旧や施設整備が進んだことから、鉄路を中心とした復興ツーリズム

【東北復興ツーリズム推進ネットワーク(仮称)の参加予定団体】  
に力を入れる。ネットワークの参加予定団体は「表」の通り。JR東が事務局を担い、復興庁や国土交通省、本県を含む東北地方の被災県や市町村、全国の旅行事業者が参画する。  
ネットワーでは官民が

- ・事務局＝JR東日本
- ・国＝復興庁、東北運輸局、東北地方整備局
- ・自治体＝福島県、青森県、岩手県、宮城県、関係市町村
- ・団体＝東北観光推進機構、3・11伝承ロード推進機構、震災伝承ネットワーク協議会
- ・旅行会社＝JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、東武トップツアーズ、阪急交通、読売旅行、Tデイングス、JR東日本、日本バス&セールス、日本航空、全日本空輸

それぞれの強みを生かし、復興ツーリズムを具体化する。各自自治体は防災・減災学習のプログラム、旅行客の受け入れ可能施設、各種伝承施設などを提案。JR東をはじめとする旅行事業の参加を予定している。

## 7月団体設立 東北の魅力提案

# 鉄道で復興ツーリズム

ノウハウを生かし、各地域の被災地見学と自然・文化、食の体験などを組み合わせ、モデルコースをつくる。航空事業者が参画することでインバウンド(訪日客)の呼び込みも狙う。  
本県のモデルコースでは、2020(令和2)年3月に全線再開したJR常磐線を来県や県内の移動に活用するルートを想定。富岡町の東電廃炉資料館や双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館、浪江町の震災遺構・請戸小などを巡りながら、復興や震災の教訓、復旧した鉄道の重要性などに理解を深めてもらう。岩手県では、基大な津波被害から再起した三陸鉄道の震災学習列車なども行程に組み込む予定だ。

2023(令和5)年  
5月10日  
水曜日

福島県  
今日は何の日

58年前  
1965(昭和40)年  
県民投票で決定  
県鳥にキビタキ

福島民報HPに  
当時の紙面  
詳しくはこちら



発行所 福島民報社  
〒960-8602  
福島市太田町13-17



電話代表 024(531)4111  
<https://www.minpo.jp/>  
購読のお申し込み 0120-373437  
読者センター 0120-803344



料理酒が新しく  
調理効果も抜群  
合名会社  
大木代吉本店  
福島県西白河郡矢吹町  
〒960-0414 四一二六二

## 世界柔道、阿部兄妹2連覇 13



柔道の世界選手権第2日は8日、ドーハで男女2階級が行われ、兄妹で2021年東京五輪を制した男子66kg級の阿部一二三、女子52kg級の阿部詩(ともにパーク24)がそろって2年連続4度目の優勝を果たした。

・広島サミットに被災地産食品 2

・実質賃金が12カ月連続で減少 4



ソ連が第2次大  
ドイツに勝利  
「対ドイツ  
の軍事パレード

プー

各地の鉄道は多  
ノを運ひ、地域  
業発展に寄与し  
人口減少が進み  
被害を受けた沿  
路の利用促進へ

1. 住民が30人しか戻らない
2. 交流人口300万人
3. 福島第一原子力発電所公開  
(6月25日 中日新聞)
4. 世界中が日本の復興をリスペクト
5. インバウンド(観光資源)
6. 世界の一流ブランドが日本に注目
7. 輸出で日本の復活





ご清聴ありがとうございました。



# 白ハトグループ福島拠点概略説明書

2023年7月版

# プロフィール



白ハトグループ  
**兼業農家【FARMER】**  
日本一の12次化経営を  
生み出す蛻変デザイナー

常務執行役員 **佐藤大輔**

## 【役職】

アントラーズホームタウンDMO 理事

- 1977年 埼玉県越谷市にて、警察官の長男として生まれる
- 1996年 高校卒業後、白ハト食品工業株式会社「たこ家道頓堀くくる」にアルバイトとして働く
- 2003年 第13代たこ家道頓堀くくる 道頓堀本店 店長となる
- 2005年 ニューヨークマンハッタンにて、たこ家道頓堀くくる 出店！
- 2007年 コナモン博覧会にて、くくるが「第一回粉もん王座」に輝く
- 2011年 東日本大震災発生1週間後から仙台に入り、被災地を巡り焼き芋とたこ焼きをお届けする  
「おなかと心がほっこり温まる復興支援活動」スタート
- 2015年 茨城県行方市になめがたしろはとファーム設立し、地元農協と行方市と連携し、少子化で廃校になった小学校跡地と周辺耕作放棄地約20万坪を開墾し、農業体験型テーマパークなめがたファーマーズヴィレッジを開業することで、茨城県産さつまいもと農産物の風評被害払拭に成功。
- 2017年 さつまいも農業による地方創生モデル事業として農林水産祭で天皇杯を受賞。
- 2019年 **福島県檜葉町に福島しろはとファームを設立**  
なめがたでのノウハウを活用し、福島県産農産物の風評被害払拭とITを駆使し、未来型大型農業の実現に

現在、国内100店舗。6次産業から12次化産業へと取り組みを行う



大学いも 国内販売シェアNo.1

白ハトグループ原料使用商品



たこ料理専門店  
“たこ家道頓堀くくる”



第1次産業 育む

×

第2次産業 つくる

×

第3次産業 伝える

わたしたちは、生産から販売まで一貫した**第6次産業**に取り組んでいます



1947年 白ハト印のアイスクリーム屋として創業



▼  
▼ 「いもたこなんきん」 専門食品メーカーとして事業を開始



経営理念 —私たちの目指し続けるモノ—

『芝居浄瑠璃いもたこなんきん』  
を通して  
お客様の小さな幸せに  
何度も何度も  
役立ち続けていきたい





## おいもスイーツ専門店 “らぽっぽファーム”



らぽっぽファーム四谷店／壁面緑化



定番商品ポテトアップルパイ



阪神百貨店梅田本店



西武新宿駅店



ソラマチ店



- ・南海なんば駅店
- ・JR大阪駅店
- ・西武新宿駅店
- ・ecute上野店
- ・スカイツリータウン ソラマチ店 など…
- ・心斎橋店
- ・阪神百貨店梅田本店
- ・東梅田店
- ・阪急大阪梅田駅店

全国合計 約**23**店舗



## たこ料理専門店 “たこ家道頓堀くる”

道頓堀  
**くる**  
たこ家  
KUKURU



道頓堀で  
大人気!



- ・道頓堀本店
- ・コナモンミュージアム店
- ・道頓堀ミナミ店
- ・心斎橋店
- ・梅田HEP FIVE店
- ・ユニバーサルシティウォーク大阪TM店
- ・お台場たこ焼きミュージアム店
- ・スカイツリータウン ソラマチ店 など…

全国合計 約**54**店舗



## ■スーパー・量販店



広域チェーン

AEON MaxValu coop

北海道エリア

株式会社ラルス LUCKY  
つぎで COOP SAPPORO

東北エリア

ヨークベニマル  
株式会社ユニバース  
Matsuda マークスホールディングス  
MARKS HOLDINGS

中国エリア 四国エリア

FUJI 山陽マルナカ  
FRESTA 大馬天物産株式会社  
SUNNY MART

関東エリア

東海・北陸エリア

ヤオコー KASUMI ベルコ H 原信  
OK WOP まいぼすけと  
エコスグループ SANWA 三和グループ  
TAIYO BeEX スーパーベルクス FUJI FRESH  
Beisie LIFFE MICHIO LIGIYA SV  
TORISEN

関西近畿エリア

NEW FRESH Mandai HEIWARO OASIS  
関西スーパー KOHYO daiei ikari  
MATSUGEN マルアイ さとうグループ

## ■コンビニエンスストア

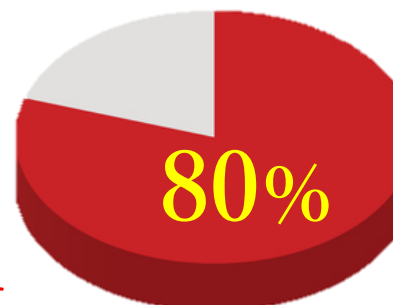


FamilyMart

## ■回転寿司

無添 くら寿司

寿はま  
HAMAZUSHI



大学いも 国内販売シェア No.1



## 弊社さつまいもペースト・パウダーを使用した商品





# 株式会社福島しろはとファーム概要

運営法人：株式会社福島しろはとファーム

所在地：福島県双葉郡柵葉町大字前原字浜城1番地

法人設立日：平成31年（2019年）4月25日

貯蔵施設稼働日：令和2年（2020年）10月14日

敷地面積：11,968.19m<sup>2</sup>（3,627坪）

建物延床面積：5,884.93m<sup>2</sup>（1,783坪）

[貯蔵庫1階4,384.20m<sup>2</sup>・2階304.13m<sup>2</sup>、農業機械倉庫1,196.10m<sup>2</sup>]

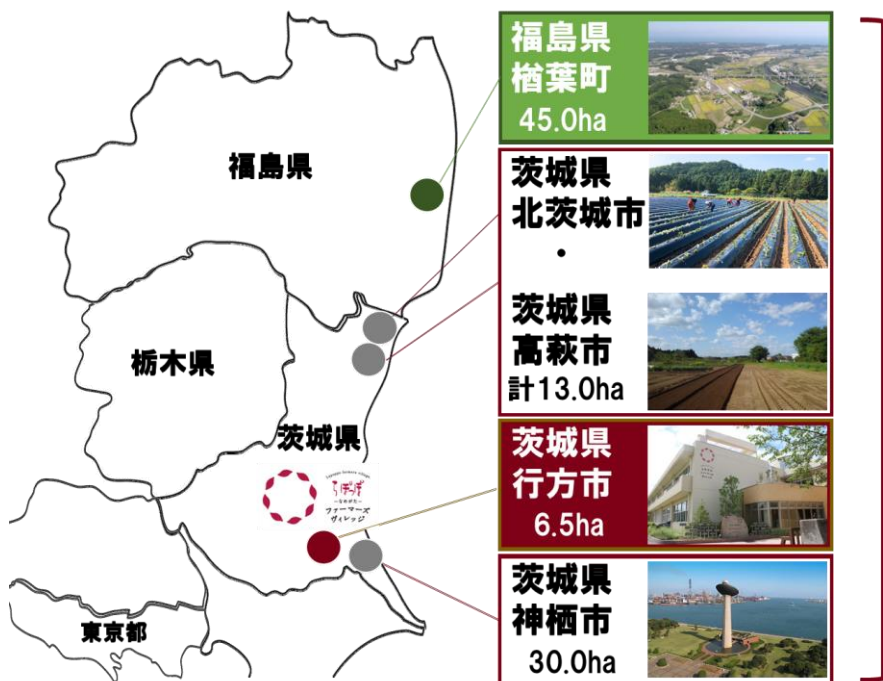
事業目的：□東日本大震災被災地の復興並びに農産振興  
と雇用創出

□甘藷栽培収穫を主とした耕地農業

□甘藷育苗採苗システム化による苗の供給及び  
販売

□農業後継者の育成、国内食糧自給率の向上

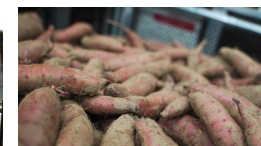
## 福島・茨城さつまいも畑MAP（契約面積）



## 柵葉おいも熟成蔵（柵葉甘藷貯蔵施設）



2019年  
世界一の大規模甘藷貯蔵庫  
柵葉おいも熟成蔵完成



最大1,260トンのさつまいも貯蔵が可能

平成23年1月 (2011年)	宮崎県と鹿児島県に跨る霧島連山 新燃岳 が大規模噴火 白ハトグループの宮崎工場（宮崎県三股町）に10 t トラック40台以上にもなる大量の火山灰が降り、空調並びに冷却設備などの生産と保管の中核機能を喪失、3カ月もの操業停止を余儀なくされた。
平成23年3月	東日本大震災発生・東京電力福島第一原発で水素爆発発生 1月の新燃岳噴火降灰による宮崎工場の操業停止を受け、企業のBCP対策の一環として日本国内で甘藷生産量第2位の茨城県内に工場進出するのが、産地と大規模消費地の首都圏を繋ぐ導線ともなり合理的であると考えた。茨城県内の工場物件各所を訪問中に当社グループ代表が東日本大震災に遭遇。原発事故による放射能拡散被害が茨城県にも及ぶのではと危惧される方々が国内で増え、茨城県産農作物が敬遠される風評被害が多く出て、当社グループで使用する甘藷の主力仕入先であるJAなめがた（現JAなめがたしおさい）が甘藷を市場に卸せず困窮している所に当社グループが手を差し伸べ、JAなめがたで保有していた甘藷を全量買取した。これを機にJAなめがた・行方市・茨城県と白ハトグループが急速に絆を結ぶに至り茨城県行方市に拠点進出となった。
平成27年10月 (2015年)	なめがたファーマーズヴィレッジ（運営：(株)なめがたしろはとファーム）開村 東日本大震災からの復興と日本農業の少子高齢化対策として出発
平成28年11月 (2016年)	檜葉町並びに東京電力ホールディングスによる、なめがたファーマーズヴィレッジへの視察訪問を受け、設立目的や意義に共感をいただき、檜葉町への進出打診を受ける
平成29年3月 (2017年)	檜葉町にて耕作放棄地1.5haを利用した甘藷栽培実証実験開始 同地の甘藷栽培事業化と栽培北限更新に向けたデータ取得を開始
平成30年1月 (2018年)	農業生産法人 株式会社しろはとファーム福島支所設置（福島県檜葉町の町役場附属施設内にて） 耕作放棄され荒廃化した農地での甘藷栽培実証実験を本格化
同年10月	白ハトグループ・檜葉町・JA福島さくら・東京電力HDによる福島県檜葉町における東日本大震災からの復興に向けた農産事業再生に関する4者協定を締結
平成31年4月	農地所有適格法人 株式会社福島しろはとファーム設立 荒廃農地再生のための甘藷栽培を大規模耕地農業として本格化



# 株式会社福島しろはとファーム設立と沿革

令和元年10月  
(2019年)

東京電力ホールディングスより出資を受ける

令和2年9月  
(2020年)

甘藷専用貯蔵倉庫と大型農業機械類保管倉庫が完成  
日本国内最大規模の貯蔵量と長期保管設備を装備した施設（楡葉町により建設され所有し当社は無償賃借として借受）  
復興庁より感謝状授与を受ける  
東日本大震災の被災地復興に向けた農産事業取組を評価される

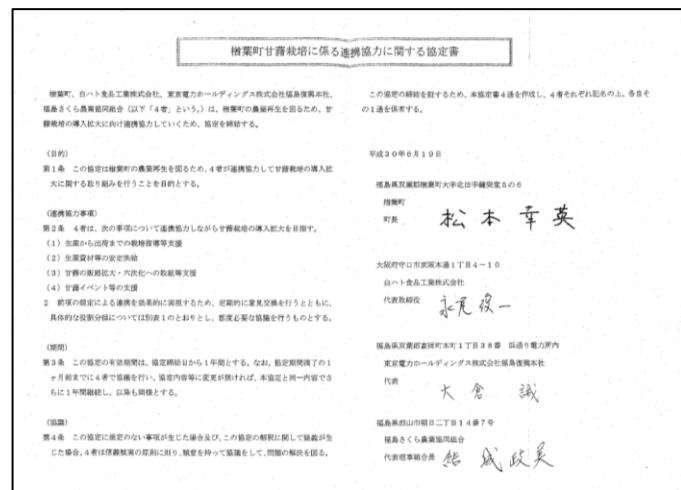
同年10月

甘藷貯蔵施設「楡葉おいも熟成蔵（当社呼称）」稼働開始  
収穫後の甘藷を生芋のままで長期貯蔵できるキュアリング設備を活用し、自社農園並びに提携農園で収穫した甘藷生芋を保管することで、グループ内での製品製造加工に使用する原材料の甘藷をコントロールでき、効率的な製品製造とグループ内在庫量低減の双方が実現できる場として期待

令和3年1月  
(2021年)

大規模自社農園への甘藷苗供給に向けた画期的育苗を試験運用開始  
自社農園内で必要とする甘藷苗を育採苗しながら来年以降には提携農家や外部農家等への甘藷苗の販売を目指す

## 4者協定書



## 元経済産業省官僚・現慶應義塾大学大学院教授 岸博幸先生のご紹介により連携が実現





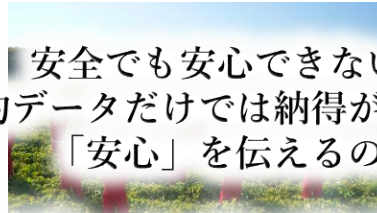
# 福島県楡葉町でキラキラ笑顔が TSUNAGU

2011年3月11日 東日本大震災 福島県楡葉町震度6強

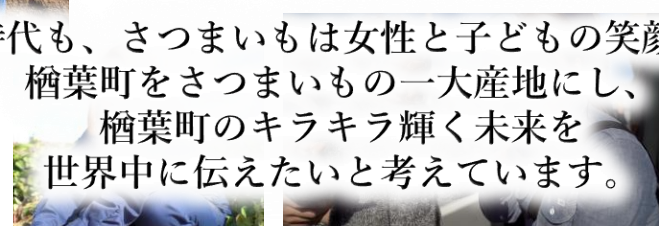


地震、津波、原発事故が町を襲い、町民は全国各地に避難。  
2015年に避難指示は解除されるも、田畑は荒れ、町には耕作放棄地が溢れました。

震災から10年が経ち、放射線量は大幅に減少しました。  
しかし町民が町に戻っても仕事は無く、農業をしても風評被害で販売先はほとんどない。



## 女性と子どものキラキラ輝く笑顔



安全でも安心できない。  
科学的データだけでは納得ができない、  
「安心」を伝えるのは

であると私たちは考えました。

いつの時代も、さつまいもは女性と子どもの笑顔のモト。

楡葉町をさつまいもの一大産地にし、  
楡葉町のキラキラ輝く未来を  
世界中に伝えたいと考えています。



# さつまいもで福島県楡葉町の地域をTSUNAGU

ビジョンに賛同いただいた楡葉町の団体が繋がり、楡葉町でのさつまいも栽培をスタートしました。



## ●2017年 耕作放棄地の開拓を開始（初年度1.5ha）



## 大規模な農地を開拓するため、農業改革に日々挑戦



高効率農業を目指し、鉄コン育苗の実施



自動運転トラクターなどIT農業への挑戦

## ●2021年 契約圃場面積は45haへ



2019年  
世界最大のさつまいも貯蔵庫完成



籾殻燐炭での堆肥生産



# さつまいもで福島県楡葉町の未来へ TSUNAGU



楡葉町の子どもたちも収穫に参加



女性と子どものキラキラ輝く笑顔があふれる町を目指し、**さつまいもの大規模農業**に挑戦中

私たちが福島県楡葉町で実現したいこと

1

安心安全で美味しい  
さつまいもを  
伝える、届ける

オリジナルブランド  
さつまいもの開発



2

さつまいもを通じて  
楡葉町の**地域交流**

さつまいもの  
苗植会・収穫祭開催



3

さつまいもと農業で  
**SDGs**の実現

畑でSDGs教室開催

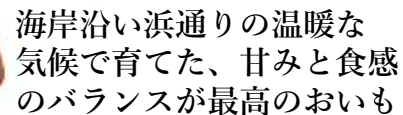




檜葉町の子どもたちもキラキラ笑顔で収穫に参加



檜葉町、東京電力HDの方々も一緒に苗植え、収穫





## 世界最大のさつまいも貯蔵庫にて長期熟成



### 福島県櫛葉町甘藷貯蔵施設 「櫛葉おいも熟成蔵」

2019年に福島県櫛葉町に完成。最大約1,260トンのさつまいも貯蔵をできる世界最大のさつまいも貯蔵庫です。



### 独自の貯蔵技術

キュアリング処理したおいもを一定の温度で長期熟成することで、デンプンが糖に変化して甘くしっとりとした美味しいさつまいもになります。



糖度UP!

熟成



じっくり、ゆっくり  
時間をかけて...



旨味UP!

焼成



## 鉄コンテナ育苗の実施

### 鉄コンテナ育苗とは…

イメージとすると「プランター栽培×高設栽培」の特徴を合わせ持った育苗方法。プランター栽培のメリットである移動が簡易である点と、高設栽培のメリットである栽培管理の容易性を鉄コンテナを使用する事で、甘藷育苗に双方のメリットを転用させた育苗方法。

#### 1 ウイルスフリー苗の分岐増殖



#### 2 種芋の伏せ込み



#### 3 育苗



ハウス屋内  
鉄コン育苗

#### 4 苗切り



#### 5 苗消毒



#### 6 定植



育苗エリアの拡張性

屋外  
鉄コン育苗

気候・季節・場所に  
影響されない育苗

労働時間の平準化  
と作業効率の改善

基腐病の予防と  
蔓延防止



鉄コンテナによる  
甘藷育苗手法と一斉採苗手法が  
特許を取得しました

白ハトグループ農園部門が開発した鉄コンテナ育苗手法が、重労働となる育苗・採苗作業を飛躍的に軽減化し、短期間で大量の甘藷苗が確保できること、また甘藷コロナと言われるほど日本全国で蔓延し、深刻な甘藷凶作の原因となっている基腐病（もとくされびょう）の感染対策にも繋がること、それらを大きく評価され特許として認められました。



## 世界最大の育苗施設「福島しろはとソーラー育苗ハウス」



育苗施設を整備し病害のない健全な苗を自ら供給することで、柗葉町のみならず相双地域での甘藷苗調達コストの低減や反収の向上などを図り、営農再開や栽培面積を拡大する農業者にとって魅力的な環境を整備し、営農再開の加速化を促進します。

### 特徴



鉄コンテナ育苗のためハウスの背が高く、鉄コンテナを持ったままリフトやホイールローダーも楽に移動が可能。



自動制御盤が付いているため、CO2濃度、温度、風力（風速計がついている）を自動で計測できる。



## 復興庁復興大臣より感謝状授与

2020年 株式会社福島しろはとファーム

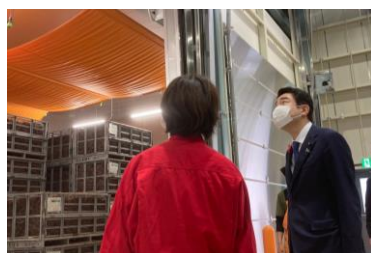
復興庁復興副大臣より感謝状授与



…「福島県楢葉町におけるさつまいも栽培を中心とした取り組み」に対して、復興庁副大臣より東日本大震災からの復興に尽力する企業として感謝状を贈呈いただきました。



野上農林水産大臣、森元法務大臣ご訪問



横山復興副大臣ご訪問

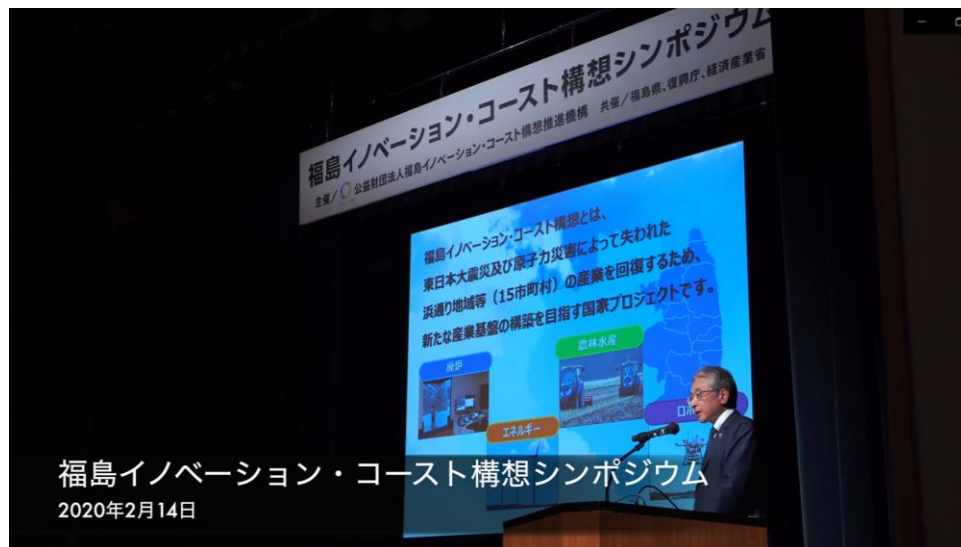




## 福島県のシンポジウムへの参加



2020年 福島イノベーション・コースト構想シンポジウム  
…東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト。



2021年 ふくしま復興を考える県民シンポジウム2021  
…「果敢にチャレンジを進化させ共に未来を切り拓く」をテーマにふくしまの未来を考える。



株式会社福島しろはとファーム  
農業divisionリーダー 瀧澤参加



環境大臣 小泉進次郎氏



株式会社福島しろはとファーム  
代表取締役 永尾参加



## 檜葉町の子どもたちとさつまいもの収穫体験イベント

農業の楽しさ、福島で育ったさつまいもの美味しさを伝え、キラキラ笑顔があふれる町へ





## 福島県檜葉町での地域交流

### 檜葉中学校キャリア教育学習

…らぼっぽファームの商品開発担当者と檜葉町の中学生が檜葉町の特産品を使って共同商品開発



### ならSUNフェス出店

…檜葉町の恒例イベントにて焼きいもの振る舞いやらぼっぽ商品の販売





## 東京オリンピック・パラリンピックメイン会場 新国立競技場出店

2019.12.21 こけらおとしより**15店舗**の飲食ブースを出店



### 福島県栃葉町復興支援ブース出店

栃葉町名産のマミーすいとんや栃葉町産さつまいもの焼きいもを販売。



### 栃葉町松本町長ご訪問



### 復興庁末宗事務次官ご訪問





## 未来に向けて ———— ならはSDGsスタイル



### おいも & お米ソーラーシェアリング



檜葉町内の各施設へ送電使用



日本一の甘藷貯蔵庫



大規模育苗施設



鮭の孵卵施設



堆肥施設など

電気自動車、電気自転車などに充電



SDGs  
研究拠点を  
移動散策



エリア内住宅の  
屋根置きソーラー発電

IOT介護で独り暮らしの  
高齢者をサポート

在宅介護シーンでのIOT

「持たせる」のではなく日常のシーンに入っている事が重要



遠隔見守り  
健康管理

# 復興と対話の難しさ

佐藤優香

# 目次

- 1 : 探究の問・理由・課題
- 2 : 一般的に対話と復興（＝処理水問題）についてどう思われているのか。
- 3 : 経験を通して自分が思う対話と処理水問題についてどう思うのか（1F地域塾）
- 4 : 2と3を振り返ってみて違いや共通点って何なのか。
- 5 : 自分が次に気になる問とすべきアクションは何か。
- 6 : 自分が紹介したい新聞記事や対話について述べている記事

# 取り組んでいる問・課題・理由

## 【テーマ】

### 復興と対話の難し

#### 【テーマの理由】

- ・「福島復興」と言われているが、順調に何事もなく進んでいるのか。
- ・「復興」の難しさとは何なのか。
- ・「対話」という視点から見ると「復興」は難しいんじゃないのか。
- ・1F地域塾に参加して復興と対話について調べたい。と思った。



## 【探究の課題】

- ・「福島復興」を順調にすすめるためにはどうしたらいいのか。
- ・対話ってそれぞれの立場によって考えてること、復興についてどれくらい関心しているのかが違ってくことをわかった上で対話をする事。
- ・「対話の概念」に沿って対話をすべき。と言っている人が居るが、別に大まかな概念でやっていればいいんじゃないのか。

## 【考えたいこと】

- ・「対話」の難しさ。「復興」の難しさ。って何なのか。

## 【復興について】

・「福島のリ興」と聞いてみて、【処理水問題】【地域活性】【人口を多くするの力】 .....

復興だけでも多くの種類があって全部は難しい。と思う。  
だから、一つの課題に注目して探究していきたい。と思う。



自分が知っていることをやりたい

部活で活動したときがある処理水問題に注目して探究をしたい。

だから探究での復興は【処理水問題】



# 一般的に対話と処理水問題はどのように思われているのか。

---

- ・「対話」とは2人または数人の人がいて目的があってそれを達成するために交わされる話しです。
- ・自分の意見をちゃんと考えた、伝えたうえで相手が話す内容の意味を追求しながら話すことです。
- ・対話として大切とされていることは自分の意見も大切だが、相手の意見に対して反論をすることはよくない。
- ・一つの問が終わったと思ったらまた違う問が出てくること
- ・自分とは異なる意見を理解して、「こんな意見もあったのか」が大切。

# 一般的に対話と処理水問題はどのように思われているのか。

---

- ・処理水の排出をすることで風評被害が定着してしまう。
- ・処理水を海に放出することで海洋汚染が進んでしまう。
- ・科学的に大丈夫と言われているが、漁業者からしたら、不安が多い。
- ・政府と話していると言われているが、何年も前の話なのにちゃんと動き始めるのは今年っておそくない？
- ・様々な処理の仕方がある中で海洋放出がえられたのはなんで？
- ・保管場所とか大変じゃない？



# 経験を通して自分が思う対話と処理水問題とは何なのか。（1F地域塾）

---

## 【対話】

- ・ 自分の意見だけではなく、相手の意見も尊重すること。
- ・ 立場が平等である。
- ・ 応答性（レスポンス）がある。
- ・ 答えを出すよりもそれまでの過程が大切。
- ・ 問いをこたえようとするとは別の問いが生まれる。
- ・ 最後まで曖昧さは解消できない。

# 経験を通して自分が思う対話と処理水問題とは何なのか。（1F地域塾）

---

## 【処理水問題】

- ・ 科学的には安全とされているが、海に放出することに対して賛成も反対もいる。
- ・ 様々な立場の人によって意見がある。

→だからこそ意見として聞くことはできるけど自分の意見を曲げることは難しい。

「ゆずれないところあるよね」

「わかるけど..」

- ・ 海洋放出することで風評被害があって、周りから「やっぱり福島海は」って思われるのは嫌だよね
- ・ 保管場所とかる過するものとか大変じゃない？

など...



# 2と3を振り返ってみて違いや 共通点って何なのか。

---

違い

## 【対話】

- ・「応答（レスポンス）」があること。  
汚染が気になる
- ・ 答えを出すよりもそれまでの過程が大切
- ・ 最後まで曖昧さはなくなる。

## 【復興】

- ・ 海に排出することで海洋

# 2と3を振り返ってみて違いや 共通点って何なのか。

---

## 共通点

### 【対話】

- ・ 相手の意見を反対するのではなく、  
違う意見として尊重する。
- ・ 問いに対する答えを出そうとすると、  
違う問いが生まれる。
- ・ 立場が平等であること。

### 【復興】



# 今後の行う予定のアクション

---

7/21（金） 双葉郡バスツアー

7/30（日） 第12回ふくしま学（楽）会発表

8/3～4（木・金）宮城研修

日付未定（夏休み中）菅波香織さん対談

日付未定（夏休み中）

お茶の水女子大学附属高等学校2年生くるみさん

チャレンジオープンガバナンスの話し合

い

# 廃炉をめぐる対話

ふたば未来学園高校2年 磨 琉花

2023  
730



# 目次

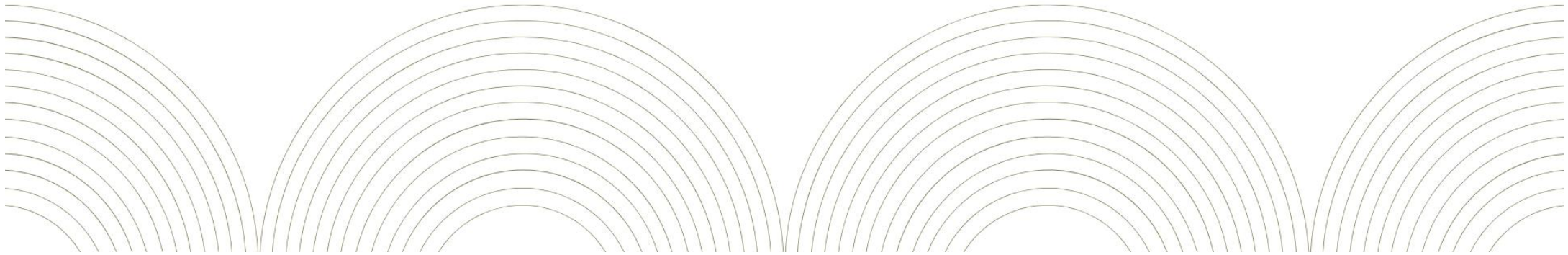
## 1 自己紹介

- 3 至った経緯
- 4 対話のプロセス
- 5 対話続ける辛さ
- 6 まとめ



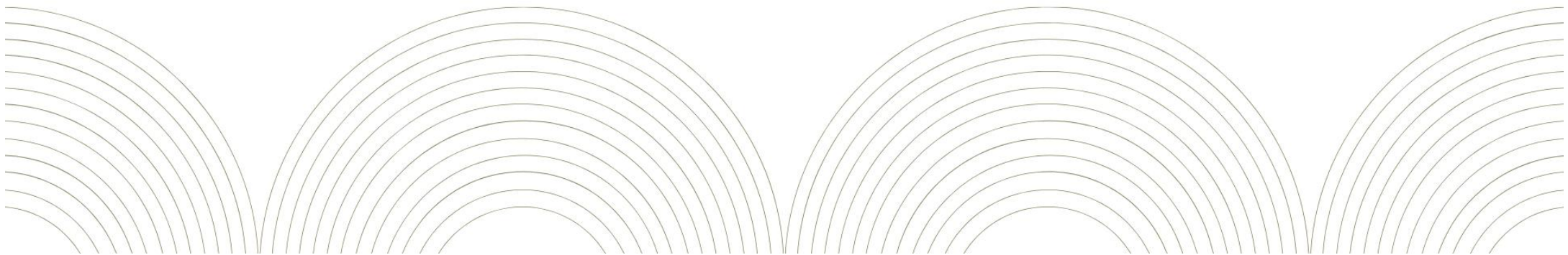
**皆さんは目玉焼きに何をかけますか？**

---

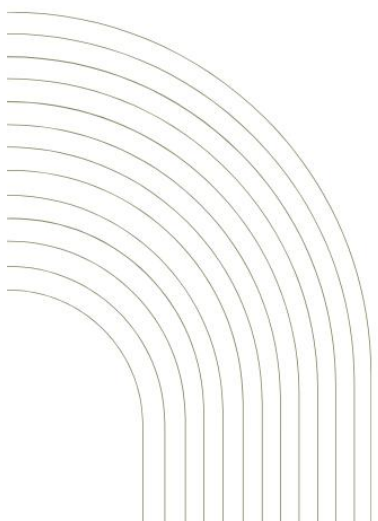


ケチャップ

---

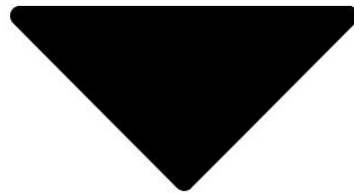


# 社会





一方的な意見のぶつけ合い



対立を生む

価値観の違いを理解し、  
面白いと思って欲しい

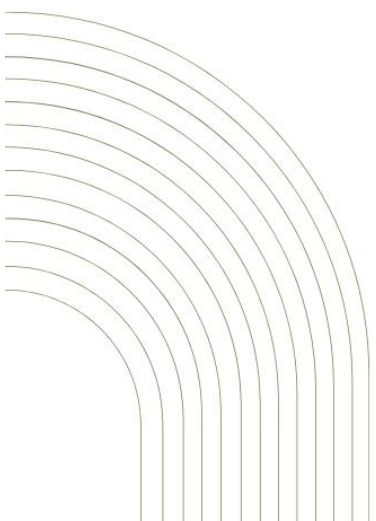


# 対話の形

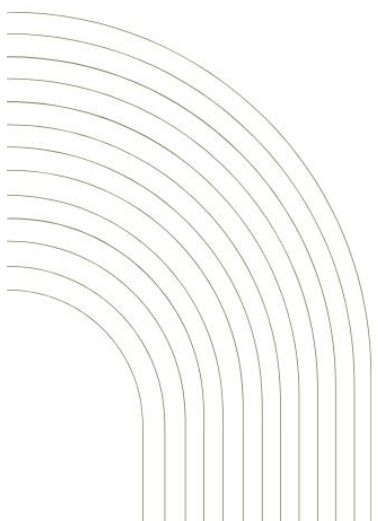


# 探究対話

ゲームの「ITO」を使って、  
対話の場を作ろう



# 探究に至った経緯





第1回～第4回の1F地域塾を通して感じたこと。

どうすれば知識の有無を超えた対話ができるか

対話の内容

第1回～第4回の1F地域塾を通して感じたこと。

どうすれば立場の違う人との話し合いの難しさ

楽しい



どんな町を作りたいか



押し活できる場所が  
欲しい

カフェがほしい

人とおしゃべりできる  
場所が欲しい



どうして？  
知識の差  
気持ちよく話せない



気持ちよく話せる対話の場をつ  
くりたい  
そのためのプロセスを考えた

**考えた対話のプロセス**

理想

対話のハードルをさげる  
難しさの段階をのぼる



# 対話の難しさ

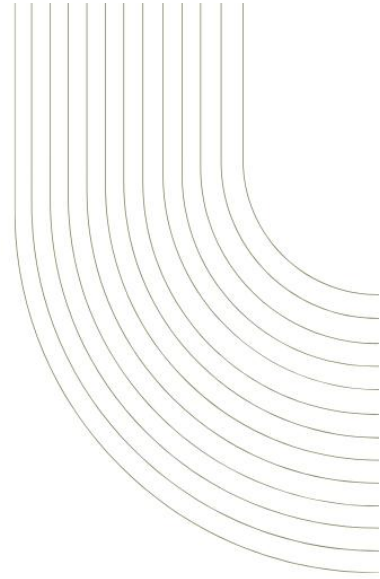
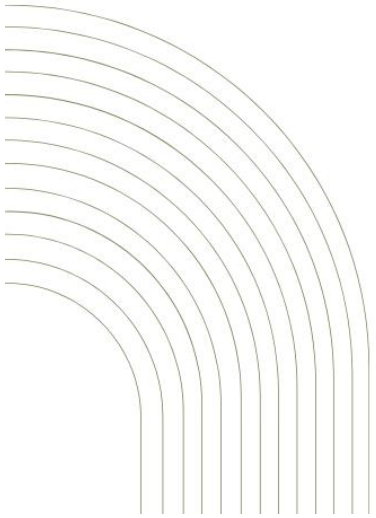
知識の差を実感して不安に感じる

考えすぎて人との距離がある

答えが分からない辛さ

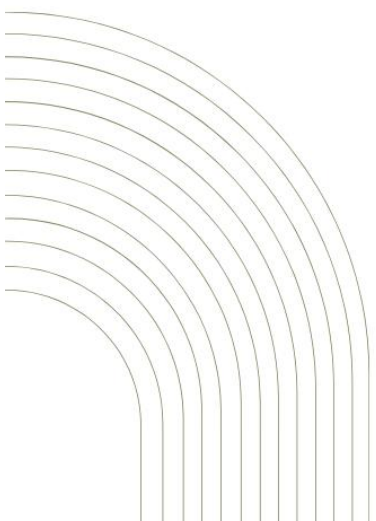
# 対話の地図

絵！



# やるべき事①

相手との共通部分を見つける







## やるべき事②

共通部分から共通テーマ、理想を決める

→合意形成をはかる

## やるべき事③

いろんな立場からの知識の共有、検討



## やるべき事④

理想→現実として行動する

# 廃炉の対話のあり方の理想



①～④までの対話の流れが繰り返しできる



# ケイパビリティ 説明

**どう対話に生かすか**



対話の理想 プロセス ケイパビリティ 重要

**ご清聴ありがとうございました。**



福島県いわき市在住(2003年～)

作家・NPO福島ダイアログ理事長・放送大学大学院文化科学研究科 修士課程

## 2011年ー2022年 福島のエートス

<http://ethos-fukushima.blogspot.com/>

いわき市久ノ浜末続地区との協働での放射線  
線防護活動

ICRP・福島ダイアログへの参加・運営企画



『海を撃つ ー福島・広島・ベラルーシ  
にて』2019 みすず書房



『末続アトラス 2011ー2020:狭間の地域が暮  
らしを取り戻す闘いの記録』2022 福島のエー  
トス (PDF無料DL可)

## 2019年ー NPO法人 福島ダイアログ

<https://fukushima-dialogue.jp/>

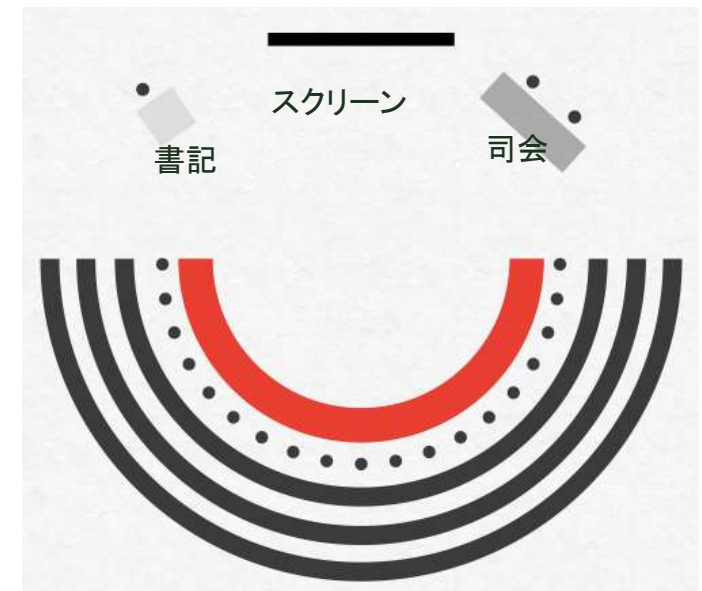
福島ダイアログを開催



『スティーブ & ボニー 砂漠のゲンシリョ  
クムライン・アメリカ』2022 晶文社

# 福島ダイアログの経験から見た「創造的復興」

- 2011年～2022年までに24回開催  
(2023年10月14・15日に25回目を開催予定)
- 構造化された話し合いによって、互いの経験や考えを共有
  - ・復興プロセスの進捗に従って、女性の発言力が徐々に低下。存在感も薄れ、意思決定の場から現在はほぼ完全に排除。「女性の消えていく復興」
  - ・意思決定の場は、男性にも開かれているわけではない。「誰かがどこかで勝手に決めている」
  - ・地域社会のパワーバランスの不均衡に配慮したうえで、意思決定の場を地域住民にひらくことによって初めて、創造的復興を**始める**ことができるのではないか？





# 香中峰秋

1961年生まれ てんびん座、O型

長野県岡谷市生まれ 埼玉県上尾市、日本一暑い町「熊谷市」で育つ  
高校・大学・社会人とラグビーに熱中、保健体育教員免許取得

1984年4月 株式会社博報堂入社、以降38年勤務

2014年4月～2020年3月東北博報堂経営職として出向(郡山・仙台・盛岡に居住。)

2022年4月 内閣府地方創生人材として富岡町役場に入庁、とみおかプラスに事務局長として勤務  
神奈川県平塚市に妻が暮らす、二拠点生活中。



震災前の人口	16,000人
2年前の人口	12,220人
現在の人口	11,672人
町外で暮らしている人	10,600人

町には戻らないと答えた割合 **50%**

町には戻らない方推計値 5,300人

戻りたいが今は戻れない方推計値 3,000人

決められない方推計値 2,300人

町内居住者 2,214人

帰還された方 約1,000人

新たに住んだ方 約1,200人

とみおかサポータークラブ 540人 (アクティブ)

共通しているのは富岡町への思い



町に関わる6つの層、ベクトル合わせに時間はかかるが、  
「超複層」、「超マルチステークホルダー」これが富岡町の持つ特徴。超複層的な方々が参加するまちづくりが「創造的復興」??

# 自己紹介

高橋洋充（たかはし ひろみつ） 福島県立福島東高校 教諭（地歴・公民科）

- ・ 1971年（1 F 1号機稼働の年）生まれ。双葉郡浪江町出身。  
父母は浪江で約半世紀にわたり食堂を営んでいました。
- ・ 発災時も現在も、福島市に居住しています。自宅は更地になりましたが、お墓と帰還できる住居があり、ときどき週末を浪江で過ごしています。
- ・ 前回（第11回）『福島県浜通り地域で働く（＝暮らす）、ということ。』というタイトルで話題提供をさせていただきました。
- ・ 被災地をふるさととする当事者としての**自分の気持ち**や、社会の変化（**変わらなさ**）を、丁寧に考え続けようと思っています。
- ・ また、学校現場で、まだ「**社会的な立場のない**」生徒たちに、何を・どのように学び、伝承していくかについて、模索しています。学びの場・対話の場をつくり、**自分のアタマで考え、変化し続けること**の大切さを実感しています。



## （以下、前回の資料） 私が伝えたいこと。

- ①**創造的復興**の地では、帰還した住民と、多様な出自の新住民が協働して新しいコミュニティを創ることになる。そのためには、地域の歴史・文化・伝統に対するリスペクトとエンパシーが重要なのではないか。
- ②原発事故で日常を奪われ、避難先で自らふるさとを「封印」したひとたちもいる。対話なき**創造的復興**による景観・コミュニティの変化は、ともすれば、ふるさとを「あきらめる」ことに繋がる危険性があるのではないか。
- ③**創造的復興**とは、帰還を選択できない・しない元住民も、「ここは私のふるさとだ、先祖代々ここに生きていたんだ」と誇りをもって語れる地域を創ることではないか。



福島県浜通り地域は「復興予算の草刈場」ではないはず。  
一方で、この地域の人口が発災時よりが増えることはないのは明らかである。

人口減と経済成長を両立させるためには「生産性」を高めるしかない。  
しかし、この「構造」の究極が、人災である原発事故をもたらしたのではなかったか。

これでは、「**新しいムラ**」ができるだけでしょう。

創造的復興のゴールは、違う選択肢でなければならないのでは？

もうひとつだけ、私の思うところを。

「創造的復興」を達成するには、どちらの方法を選ぶべきでしょう？

A 地域住民（避難者含む）との対話を積み重ねて、結論を出す。

B 結論を出して、「丁寧な説明」をする。

原発事故から12年間たって、未だ「創造的復興とは何か」を問うている段階です。それは、Aを「やっているふり」をしてきたからではないでしょうか。

現在あらゆる方面で強行されているBで実現する未来は、果たして誰のものなのでしょうか。一度立ち止まって、考えるべきだと思います。

# 総括セッション： グループ報告と総合討論

## 討論者

- 浅野雅己さん (浅野撚糸(株)代表取締役社長)
- 佐藤大輔さん  
(株)福島しろはとファーム常務執行役員)
- 佐藤優香さん  
(ふたば未来学園高校2年、1F地域塾 塾生)
- 磨 琉花さん  
(ふたば未来学園高校2年、1F地域塾 塾生)

# 自己紹介

## 対話を文化に～みんなでつくる未来・共創の場



崎田裕子

### ジャーナリスト・環境カウンセラー

- 環境・エネルギー軸に持続可能な地域づくり
- 「中央環境審議会」委員
- 地方創生推進事務局「地域活性化伝道師」
- 早稲田大学 招聘研究員



### NPO 持続可能な社会をつくる元気ネット前理事長

- 2007～2017 高レベル放射性廃棄物・地域ワークショップ

### 福島環境回復・復興・廃炉に向けて

- 2011～2018 「環境回復勉強会」自主開催
- 2012～環境省・福島県「除染情報・環境再生プラザ」運営委員
- 2016～2020 経済産業省「ALPS処理水小委」委員
- 2019～「1F廃炉の先研究会」副代表
- 2022～「1F地域塾」副塾頭
- 2022～環境省「放射線リスクコミセンター」総括補佐



公設環境学習施設の市民・事業者参画型運営を推進  
(NPO法人新宿環境活動  
ネット代表理事)